

## ゴミ問題の1年と問題点

この国の明日が見えにくい。  
閉塞した状況を突き破り、新しい扉を開けるのは誰か。  
それは政治家でもお役所でもない。  
私たち「民」ではないか—。

\* 信濃毎日新聞社『民が立つ—地域の未来をひらくために』コピー

### 1) 計画を初めて知った頃のことを、思い起こしてみよう

#### 飯森 住民説明会

■住民からは静かながらも建設にかかわる不安を上げる意見が出され、「観光地の白馬に有害かもしれない煙が出る施設を置く影響は」「受益者負担が増大している。現存施設をメンテナンスしながら継続使用できないか」「建設後の環境や景観への影響が心配」。南部に広がる水田地帯への影響や、生息するとされる希少動植物を心配する声もあった。(2007. 2. 28 大糸タイムス)

#### 名鉄 住民説明会

■牛越徹連合長(大町市長)は「地域の皆さんの合意をいただかないと前に進めることはできない」とし、地域の理解が計画を進める前提との姿勢を確認。(3. 15 信濃毎日新聞)

■住民からの健康被害の心配や環境、景観への悪影響を強く訴える質問に、太田村長は「景観への配慮と村民の健康に最大限留意するのが大前提としてきた」と回答。「観光立村の白馬にふさわしくない」との声には「客観的な結論として出てきたこと。観光ゆえにごみの量も相当ある。観光ゆえに施設を排除する理論は賛否あるのではないかとした。意見集約に住民投票を求める声もあったが、太田村長は「意見集約の責任はある。投票は選択肢としてはありえるが、しこりを残す方法でなく、理解を求めていきたい」と避けた。(3. 15 大糸タイムス)

### 2) 白馬村の歴史に無かった過半数署名、潜在実数はそれ以上？それ以下？

#### ■7月20日 一次提出

村内署名 3,831 筆(全村民の 41.4%)、村外署名 11,422 筆、合計 15,253 筆

#### ■9月18日 二次提出

村内署名 3,979 筆(全村民の 43%)、村外署名 13,676 筆、合計 17,655 筆

#### ■11月22日 三次提出

村内署名 4,518 筆(全村民の 48.8%)、村外署名 14,169 筆、合計 18,687 筆

\* 村内署名は、別にエコーランド区民が独自に提出した 210 筆を加え村民の 51.2%に達しました。

### 署名の重み

- これに対し太田村長は『署名はしたけれども本意ではなかった』などという村民からの声が寄せられている。ほんとうに統一見解が取れた上での署名なのか。証拠を示して欲しい」と、逆に宮田会長らを問いただす場面もあった。(2007.9.19 読売新聞)
- この署名については、真摯に受け止め、住民の意見として参考にしたいが、住民の半数を超えたとしても、それを実行しなければならない義務は、行政には無いものと考えています。■署名だけをももって計画を変更する考えはありません。■住民投票で半数を超えたと言えるほどの重要な認識はありません。…51.2%を取るに足りる事とは言っていない。(いずれも議員質問に対する村長答弁 議会だより 83号より)

### 3) 計画や候補地選定への住民参画は、時代の流れです

#### 公募委員

用地選定に学識経験者や住民の参画がなかった→「学識経験者や住民を含めた十六人からなる検討委員会で選定方法や選定項目の方針をまとめた上で、これに沿って、三市村の助役や担当部課長でつくる用地選定委員会が選定を進めた」(2007.5.9 信濃毎日新聞)

【**連合議会**】→「ほかの地域で、建設用地を発表後に反対住民から選定委員会の住民代表に抗議が殺到するなどの例があり、混乱を避けるために変更した」(2007.8.30 朝日新聞)

### 4) 行政の“都合”や“やりやすさ”が優先されたら、民意は死んでしまいます

#### 未公表会議

【**連合議会**】10月20日の未公表会議で事実上候補地が決められたことを示す文書がある→「何通りか作成した進行次第の一つ」(2007.8.30 朝日新聞)

【**村議会**】→「実際に行われなかったシナリオが公開されたのは遺憾。実際の会議ではこのようなやりとりはなく、そのときに用地が決定した経過はない」、「あたかもこの会議で決めたかのようなチラシが出回り、事実と違う情報が流され住民に混乱を起こす可能性もある。このような方法が本当に白馬のためになるのか疑問に感じている」(9.27 大系タイムス)

#### 確認調査

■「一点目の調査(活断層及び副断層の確認調査)については、ごみ連協の皆様からこの活断層の存在は公表されているものの、これから出ている副断層が建設予定地につながっているか。また、活断層の位置が建設予定地の直下にあるのか。村民の持つ不安に答えられないと、話の進展が望めないで調査を進めることはよろしいとの進言をいただき、また、議会からも調査をすべきと言う強い進言をいただきましたので、確認調査をすることとしたものであります。」(12.12 村議会冒頭のあいさつ) \*2月19日臨時村議会で撤回

### 〈資料〉ごみ連協の活動内容（主な活動・関連記事もあり）

～2007 年～

- 2/23 信濃毎日新聞が正副連合長会議で候補地飯森を決めたと報道
- 3/26 飯森区住民対象に住民説明会（以降、5/28 の深空地区2 回目まで村内10 箇所で開催）
- 4/25 ウィング21 で集会（10 団体200 人）。
- 4/26 「白馬新ゴミ施設を考える連絡協議会」が15 団体の参加で発足。会長に宮田温巳さんが就任。  
当面は白紙撤回署名の推進を確認した。
- 5/23 広域連合議会に計画の白紙撤回を求める陳情書を提出 → 5/29 の議会で継続審査
- 6/09 関口鉄夫さんを講師に勉強会「ゴミと農業&健康を考える」を開催（150 名）
- 6/28 深空南村有志が白馬村議会に白紙撤回の陳情 → 9/26・12/21 の議会で継続審査
- 7/01 「新ごみ処理施設建設計画の白紙撤回を求める理由」をHP で発表
- 7/18 第1 回ミニ勉強会「用地選定の過程について」～議事録などの調査報告より～（35 名）
- 7/18 白馬村村議会議員との意見交換会を行う（議員：12 名、各団体代表：14 名）
- 7/20 連合長、白馬村長・議長に「署名簿の提出にあたって」を提出
- 7/27 連合長・白馬村長宛に深空区長から「ごみ処理施設候補地に係る深空区の意見書」（白紙撤回）
- 7/30 白馬村長に「地域懇談会のありようをめぐって—異議申し立て—」
- 7/30 白馬村長に「説明会実施に関する要望書」
- 8/01 広域連合のゴミ施設説明会に参加（名鉄住民から出された質問書に対する説明会）
- 8/20 広域連合議会に「再度の白紙撤回を求める陳情書」を提出 →8/28. 11/26. 2/22 の議会で継続審査  
「新ゴミ処理施設建設計画の説明会に関する陳情書」を提出 →8/28. 11/26. 2/22 の議会で継続審査
- 8/20 広域連合議会に「新ゴミ処理施設建設計画に関する議員懇談会開催の要望書」 → 10/15 実施
- 8/24 白馬村長に「地区懇談会のありようについて—再び抗議する—」を提出
- 8/26 「用地選定過程について」をHP で公開
- 8/28 広域連合議会傍聴(9/14 に記録をHP で公開)
- 8/30 白馬村議会に「新ごみ処理施設建設計画を白紙撤回し、学識経験者、住民代表を含めた“ごみ問題特別委員会”（仮称）の設置を求める陳情書」を提出  
→ 9/26・12/21 の議会で継続審査
- 9/07 「広域連合の用地選定過程を検証する」と、その前文にあたる「建設計画の正当性を問う（第1 部）」をHP で公開
- 9/13 第2 回ミニ勉強会「用地選定過程の問題点についてⅡ」（50 名）
- 9/14 「建設計画の正当性を問う（第2 部）・用地選定過程の問題点についてⅡ」をHP で公開
- 9/17 「用地選定過程の問題点についてⅡ」資料集をHP で公開
- 9/18 広域連合に第2次の署名を提出。  
連合長・白馬村長・白馬村議会議長に「署名簿の提出にあたって」を提出
- 9/23 5～6 月に取り組んだ「住民監査請求」の内容と結果報告をHP で公開
- 9/28 村長に『署名簿提出の際の村長の「暴言」に抗議する』『住民投票条例制定の要望書』を提出  
連合長に『候補地・飯森の「予備調査」に反対する意見書』を提出

- 10/01 住民監査請求を行なった調査・研究部上田誠さんが広域連合長に公開質問状を提出
- 10/07 「白馬に來られた観光客の皆様へのアンケート」集計結果HP で公開
- 10/09 太田村長に公開質問状2 件提出  
 9 月議会での村長の答弁について～公開質問状～  
 「地区住民懇談会」は、ごみ問題の説明会だったのか～公開質問状～
- 10/15 **ごみ処理広域化特別委員との懇談会**（記録は11/21 にHP で公開）
- 10/16 太田村長に『村長の議会における答弁について（続）—公開質問状—』提出  
 議会に『陳情を「却下」した議員の皆さんに訴える』を提出
- 10/23 テレビ朝日「スーパーモーニング」で、白馬村のごみ処理施設問題が全国放映される
- 10/25 連合長に「建設計画の即時中止を一質問と提言—」を提出
- 11/07 「白馬グリーンスポーツの森愛好会」が体験者52 組に行なったアンケート結果 HP で公開
- 11/22 **おかげさまで村内署名が50%を超えました！**  
**広域連合長に第三次署名提出に併せて要望書を提出**
- 11/22 中村敬さんが情報公開請求した、候補地飯森の「下見調査」に関わる非公開決定通知書とコメント  
 をHP に公開
- 11/29 生ごみ堆肥化処理場見学会
- 12/03 白馬村議会西澤議長に白紙撤回への理解を求める要望書を提出  
 白馬村議会に住民投票条例制定の陳情書を提出 → 12/21 の議会で継続審査
- 12/07 広域連合監査委員に、ごみ連協正副会長名で監査請求を行なう
- 12/18 太田村長に「村長発言に対する抗議と要請」を提出
- 12/27 抗議と要請に対する対応がなされなかったため、村長との面談。  
 ～2008 年～
- 1/18 手続き上の問題があり、広域連合監査委員に再度監査請求（職員措置請求）を行う。
- 1/21 広域連合長に『飯森地区における「活断層・副断層の確認調査」に係る意見書』を提出
- 1/25 白馬新聞が掲載した太田村長の『「村長発言に対する抗議と要請」に対する回答』  
 『「村長発言」をめぐる経緯—私どもはこう考える』HP で公開
- 2/06 姫川河床における「確認調査」の現地視察
- 2/14 住民投票条例に関する3 本の文書 HP で公開
- 2/18 太田村長に「村長発言の訂正と議事録からの削除を」の要望書を提出 → 2/19 の臨時議会村長あ  
 いさつで撤回・訂正発言
- 2/18 広域連合長に『いつ、そして、なぜ飯森は「予定地」になったのか—連合長の不誠実な行為に抗議す  
 る—』の抗議文を提出。
- 2/20 広域連合長と広域連合議会議長に「新ごみ処理施設建設計画の白紙撤回（一時凍結）への理解と、確  
 認調査の分析結果についての要望書」を提出
- 2/22 広域連合議会傍聴\_\_

## 〈資料〉広域連合行政と議会・白馬村行政と議会の動き（主なもの 関連記事もあり）

〈2007年〉

2/23

- ・信濃毎日新聞が正副連合長会議で候補地飯森を決めたと報道
- ・広域連合議会が候補地飯森を了承
- ・村長は、上記内容を村議会全員協議会で報告。

3/26 飯森区住民対象に住民説明会（以降8/1の名鉄3回目までの延参加者数は1000名との村長発言）

5/08 白馬村議会臨時会〈質問者2名〉

5/22 広域連合が「大北地域ごみ処理広域化計画推進協議会」「ごみ処理広域化基本計画検討委員会」会議録HPで公開。「ごみ処理施設用地選定委員会」の会議録は、情報公開条例に基づいて請求があれば公開すると表明（信毎）

5/29 広域連合議会は、「計画の白紙撤回を求める陳情」を継続審査とする。

6/11 牛越連合長が大町市議会一般質問で、専門家による予備的な調査の実施の考えを示す（活断層・猛禽類の生息状況）。

6/13 太田村長が村議会一般質問で、住民アンケート実施や、今後住民説明会を村内29行政区で開くことを検討したいとの考えを示す。

7/18～ 白馬村は、7月18日から9月上旬まで地区住民懇談会を実施。「ごみ問題の説明会ではない」としながらも議題にあげていた。「行政区未加入住者を対象にした懇談会も必要かと考えます」との回答があったが実施せず。

8/28

- ・広域連合議会で、大和議員が、一般会計当初予算に報酬費を盛った構成（公募委員や専門家らで行うとし、委員9人分の報酬費78万円を計上）と違うメンバーの用地選定委員会で候補地を絞り込んだ経緯を質すと共に、用地選定委員会とは別の未公表の打ち合わせ会議が昨年5月と10月に開かれていたことに触れて、情報公開の文書から用地選定委員会で協議するより前に候補地を決めていたと受け取れるとれると質問。連合長は否定。
- ・広域連合議会は、「計画の白紙撤回を求める陳情」を再度継続審査に、「2巡目の説明会を行なうようにとの陳情」を継続審査とする。

9/26

- ・白馬村議会で、小林議員が未公表会議の「進行次第書」を根拠に、「用地選定は飯森ありきだったのではないか」と質問。村長は「進行次第書」は使用しなかった資料であると否定。
- ・太田村長は、専門家による予備調査に前向きに取り組む姿勢を示し、地区ごとに行なった住民懇談会では賛成反対双方の意見交換があり、肯定的な意見も多かったとの認識を示す。
- ・白馬村議会で、8月30日に提出していた陳情が継続審査となる。また、深空南村有志から6月28日に出されていた陳情（要旨：「いこいの杜」契約更新を来年に控える中、新ゴミ処理施設による大気、いこいの杜、田畑、農作物の汚染や、それに伴う風評被害が心配されます。施設近隣での生活者、「いこいの杜」の地権者として、白紙撤回を強く要望します。」も継続審査となる。

11/26

- ・連合長は広域連合議会で候補地の確認調査を行ないたいと説明し、議会はこれを了承。
- ・広域連合議会は、計画の白紙撤回を求める陳情と2巡目の説明会を早期に行なうようにとの陳情2件をまたも継続審査とする。

12/21

- ・白馬村議会は、「住民投票条例制定の陳情」を継続審査とする。
- ・白馬村議会は、ごみ連協・深空南村住民有志の「白紙撤回」陳情2件をまたも継続審査とする。

〈2008年〉

2/19 太田村長は、12/18に出していた「村長発言に対する抗議と要請」について、この日の臨時議会で公式に撤回発言。

2/22

- ・広域連合は、連合議会ごみ処理広域化特別委員会に飯森の候補地に副断層は延びていないとの確認調査報告書の内容を説明し、これをもとに住民説明会を再開したいと説明。議会は了承。
- ・広域連合議会は、計画の白紙撤回を求める陳情と2巡目の説明会を早期に行なうようにとの陳情2件をまたも継続審査とする。
- ・村長は連合議会特別委員会での報告の内容を村議会全員協議会に報告。

〈資料〉北アルプス広域連合長に出した『候補地・飯森の「予備調査」に反対する意見書』  
(2007.9.28付)

### 1. 「活断層から 50m 離せば安全」という説明は崩壊している

活断層が“飯森地区”の直近にあるのは文献でも明記されていますし、広域連合の「ごみ処理施設用地選定調査報告書」でも、“不確か”としながらも存在を認めています。信州大学副学長小坂共榮教授の現地調査でもその存在が確認されています。小坂教授は講演で「(候補地飯森は)公共施設の建設候補地に選ぶような場所ではない」と明言しています。

さらに、中越沖地震での被害状況、特に柏崎刈羽原子力発電所の事故状況をみれば、活断層付近に事故発生リスクを負う施設を建設することの愚は明白です。

### 2. 「予備調査」の費用は高額で税金の無駄遣いである

活断層の位置を明確にするための調査となれば、単なる地質調査のためのボーリング調査では済まず、地面を掘っての調査となると思われ、費用は高額となるはずで、活断層から 50m 離すために、高額の費用を支出するのは税金の無駄遣いです。建設候補地が 18 カ所あるのですから、活断層から離れたより安全な候補地を選定すべきです。

### 3. 「飯森地区」は、真っ先に除外すべき場所である

広域連合は、「飯森地区」は決定ではないとたびたび明言しています。太田村長は、「飯森は単なる候補地の一つに過ぎない」と言ったことがあります。それならば用地選定の候補地 18 カ所について予備調査をするのが筋です。

用地選定における一次選定の基本「防災面で施設建設が望ましくない地域は候補地より除外する」という手順に戻り、18 カ所の候補地について専門家による文献調査と現地調査を行って、防災面の配慮から不適切な地区を除外すべきです。そうすれば、飯森は真っ先に除外対象になります。

以上の 3 点が予備調査に反対する理由です。なお、予備調査をすれば、明白に不可となるので予備調査を認めてもいいのではないかと考える立場の人たちがいることは十分承知していますが、私どもは、この予備調査の実質が、建設候補地として“住民の同意を得てから行う”としている地質調査を含む「環境影響調査」に相当し、これを認めることは、建設候補地として“飯森地区”を認めたことになると考えています。

この点からも「飯森地区」への建設を前提にした予備調査は許容できません。

〈資料〉小坂教授の講演での発言「場所ごとに断層の性格や(地震の)揺れ方が違い施設を何m離せば安心とは一概にいえぬ。住民全員が納得する科学的なデータに基づいて判断すべきだ」(7/11 信濃毎日新聞)

## 〈資料〉連絡協議会ニュース発行とその内容（骨子）

〈2007年〉

- 5/19 01号 統一署名開始！
- 6/07 02号 見て聞いて考えよう！
- 6/08 03号 ゴミと農業&健康を考える。関口鉄夫氏 講演会
- 7/01 04号 今 何故？早急に作る必要があるか。署名のお願い
- 05号 計画を白紙撤回した上で行政と協力してごみの減量化を検討・実施し、その結果を踏まえごみ処理施設を検討することを提案します。
- 7/08 06号 気になるのは新しいゴミ処理場の「排気ガス」の白馬大橋横にある清掃センターより、良くなるのか？悪くなるのか？
- 7/16 07号 なぜ？「一番」の候補地が活断層の近くに…？署名したいけど…ご連絡下さい！
- 7/30 08号 ご署名ありがとうございました！署名を第1弾として届けました。じっくり考えようよ！ごみのあり方と白馬の未来
- 8/26 09号 主な質問に対する広域連合の考え方(その2)への反論 1/2
- 8/27 10号 主な質問に対する広域連合の考え方(その2)への反論 2/2
- 9/09 11号 用地選定に住民等の参加が決まっていたのに、行政のみで行なわれた！！
- 9/11 12号 ゴミ施設は、はじめから「白馬」「飯森」に決めていた！？
- 10/08 13号 8月中旬～下旬に行った観光客アンケート結果
- 10/28 14号 ごみ処理対策への1つの提言（小谷村の皆様にもお届けしました）
- 11/06 あなたの署名が流れを変える！  
【白紙撤回を求める4つの理由→私たちの提案】（小谷村・柵池地区の皆様にもお届けしました。）
- 11/18 11月29日(木)の生ごみ堆肥化処理場見学会参加者募集！
- 12/02 15号 村内署名51%突破！
- 12/12 16号 村議会を見に 聴きに行こう！ 活断層の確認調査を決定

〈2008年〉

- 1/20 17号 緊急報告！ついに“環境影響調査”始まる
- 2/08 18号 候補地の「確認調査」には、こんなに問題がある！
- 2/24 19号 ごみ問題の今！！～この1年と今後の課題をご一緒に考えませんか？ごみ連協の活動内容（小谷村の皆様にもお届けしました）

**皆様の一層のご支援をお願いいたします！**

カンパ振込先：八十二銀行白馬支店 普通口座：137464 名義：ハクバゴミモンダイカンパ